

2021年7月5日

日本経済新聞社

日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定について

日本経済新聞社は、本年5月10日から6月13日まで「日経平均株価のみなし額面等に関するコンサルテーション」を実施しました。本コンサルテーションでお尋ねした6項目すべてにおいて、皆様からいただいたご意見で賛成が多数であったことから、今回提起した改定について賛同が得られたものと判断いたしました。なお、株価の大幅な変動により株価換算係数を調整する際の発表日等、各事項の取り扱いについて明確化を求めるとご意見を複数いただいたことを踏まえ、一部に修正を加えたうえで、別紙1（「日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定の詳細」）のとおり日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準を一部改定します。

また、本コンサルテーションでは「日経平均の指標性を維持するために変更した方がよいと考える点」についてもお尋ねしたところ、多数のご意見をいただきました（別紙2「Q7でいただいた主なご意見」を参照）。いただいたご意見を踏まえ、指数の品質向上を目指した改良を検討していきます。



本改定にあわせて、日経500種平均株価、日経ジャスダック平均株価（※）についても「みなし額面」を「株価換算係数」に改め、新規採用銘柄への設定ルールを変更します。ただし、両指数においては採用株価合計の1%を超えている場合の調整は行わず、入れ替え銘柄数の上限も設けません。詳細は改定後の算出要領をご確認下さい。

（※）日経ジャスダック平均株価は、2022年4月4日に予定されている東京証券取引所の市場区分の見直しによって対象とする市場がなくなるため、2022年4月1日の算出をもって終了します。

連絡先：日本経済新聞社インデックス事業室 (https://www1.entryform.jp/nikkei_indexes_contact_jp/)